



誰もが気持ちよく利用できる公園へ

あなたのお散歩マナー診断テスト… マナーとして正しいのは？

(イヌゴト ドッグライフカウンセラーコラムより)



1. ウンチは、近隣の植木などの肥料となるので、土のあるところに捨てる。



2. マーキングは犬の本能なので、どこでしても仕方がない。



3. 気持ちがいいので、公園でブラッシングをしてあげる。



4. たくさん走らせたいので、リードはいつでも長くしている。



5. きちんとつけられていれば、ノーリードでも構わない。



6. 犬好きの人に愛犬が飛びついても、気にしていない。



7. 本能なので、いつでも吠えてしまうのは仕方がない。



8. 走るのが大好きなので、自転車でお散歩してあげている。



9. 飼い主より前を歩く犬はしつけが悪い。



10. ニオイ嗅ぎは、本能なので、どこでしても仕方がない。

答え: 全てマナー違反

利用場所を分ける取り組みを!

現状では、小さな公園で犬の散歩途中の方同士の集まりの場になると、動物が苦手な方や小さなお子さんを連れの方からは怖くて公園が使えない、糞尿で砂場で遊ばせられないとの声があります。そこで衛生面や安全面からも芝生広場など利用場所を分ける取り組みを提言しました。→ 調査検討へ

多くの自治体では芝生が広がる公園等で、糞尿等、衛生上や管理上の問題を理由に、芝生広場内等でペットの立ち入りを禁止している所があります。幼児でも安心して芝生の上で遊んだり、寝転がったりできると好評のようです。

公園全域をペット連れ禁止にしている

自治体も多くありますが、可能な限り

誰もが利用できるよう、公園内で

区域を分けるという方法は、苦情

が絶えない川越市でも取り入れ

てみる価値があると考えます。



守られないルール、浸透しないマナー

「ごく一部の人がマナーを守らない」という声はよく聞きますが、「フンは持ち帰る」「砂場で排泄させない」など当然のルールさえ守られず、多くの苦情が寄せられている他、水道の蛇口に直飲みさせるといった酷い話も少なくないという現状があります。これらはマナー違反ですが、残念ながらこうした基本的なマナーを

意識できない飼主が増えているようです。

弘前市ではこれまですべての公園でペット連れの利用が禁止されていましたが、市民からの要望を受け、3つの公園で部分的に利用を認める社会実験を行いました。結果は、公園入口に社会実験中の看板をかけていたにもかかわらず、入ってはいけない所に入ったり、糞の始末をしなかったりと、4人~5人に一人はルールを守ることができなかったそうです。

また、狂犬病等の予防接種の接種率を調べると、法律で義務付けられているにもかかわらず、自治体へ登録している犬でも約2割は**予防接種を怠っています**。狂犬病は、**人を含め哺乳類に感染・発症すればほぼ100%死に至り**、世界中では年間5万人以上が死亡している恐ろしい病気です。(感染症や、ノミやダニの予防接種を受けている犬は4割~6割程度。)

犬や猫は、本来しつけのできるかしこい動物です。家族の一員として、人の中で生活するためのルールをきちんと教えてあげることが、双方の幸せにも繋がっていくのではないのでしょうか。誰もが気持ちよく利用できる公園にするために、皆様のご協力が必要です。

